

所属	看護医療学部 臨床検査学科	職位	教授	氏名(学位)	千原 猛 (博士 (医学))	
所属学会	日本癌学会、日本生理学会、日本がん予防学会、日本臨床栄養代謝学会、日本栄養・食糧学会、日本機能性食品医学学会、生物試料分析科学会、日本実験動物技術者協会					
専門領域	生化学					
研究テーマ	経口栄養食品素材のがん悪液質症状に及ぼす影響-モデル動物を用いた検討					
I 主な教育活動						
教育実践上の主な実績						
1 教育・内容の工夫 (授業評価等を含む)	各講義毎に教科書を基に講義内容をより理解するための資料を配布する。その資料に重要事項を書き込み、各自で講義毎のまとめができやすくする。					
2 作成した教科書、教材、参考書	医学領域における臨床検査学入門第3版 (KTC 中央出版、2013年) 医学領域における臨床検査学入門第4版 (KTC 中央出版、2018年)					
3 教育方法・教育実践に関する						
4 その他教育上特記すべき事項						
II 主な研究活動						
種別	著書・論文等の名称	単著 共著	発行年月	発行所、発表雑誌 (および巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	頁数
著書	Autoimmune Endocrinopathies	共著	1996年	NMarcel Dekker, Inc. Pediatric Endocrinology (3rd Edition).	William E. Winter, Takeshi Chihara.	715頁 ~729頁
著書	必要エネルギーはどう決める?	共著	2010年2月	(株)総合医学社、「重症患者と栄養管理Q&A」(改訂版)	東口高志(編著)・千原 猛、伊藤彰博、東口高志	40頁 ~43頁
著書	PEGを用いた栄養管理は、どうするの? エネルギーはどう決めるの?	共著	2011年2月	(株)総合医学社、「胃ろう (PEG) 管理Q&A」	東口高志(編著)・千原 猛、伊藤彰博、東口高志	115頁 ~116頁
著書	必要エネルギーはどう決める?	共著	2012年11月	(株)総合医学社、「重症患者と栄養管理Q&A」(第3版)	東口高志(編著)・千原 猛、伊藤彰博、東口高志	41頁 ~44頁
学術論文	Dietary Aloe vera gel powder and extract inhibit azoxymethane-induced colorectal aberrant crypt foci in mice fed a high-fat diet.	共著	2015年	Asian Pacific Journal of Cancer Prevention	T. Chihara, K. Shimpo, H. Beppu, T. Kaneko, T. Higashiguchi, S. Sonoda, M. Tanaka,	683頁 ~687頁
学術論文	Dietary administration of Aloe vera gel extract	共著	2015年	Pharmaceutica Analytica Acta	M. Yamada, F. Abe, T. Chihara, K. Shimpo, H. Beppu	340頁~

種別	著書・論文等の名称	単著 共著	発行年月	発行所、発表雑誌（および巻・号数）等の名称	編者・著者名（共著の場合のみ記入）	頁数
学術論文	inhibits intestinal polyp formation in Min fed a high-fat diet.				T. Kaneko, T. Higashiguchi, S. Sonoda, M. Tanaka, M. Yamada, F. Abe.	
学術論文	Effects of Aloe-emodin and Emodin on proliferation of the MKN45 human gastric cancer cell line.	共著	2015年	Asian Pacific Journal of Cancer Prevention	T. Chihara, K. Shimpo, H. Beppu, N. Yamamoto, T. Kaneko, K. Wakamatsu, S. Sonoda.	3887頁 ～ 3891頁
学術論文	Effects of Combined Treatment with Branched-Chain Amino Acids, Citric Acid, L-Carnitine, Coenzyme Q10, Zinc, and Various Vitamins in Tumor-Bearing Mice.	共著	2017年	Biological and Pharmaceutical Bulletin	H. Awa, A. Futamura, T. Higashiguchi, A. Ito, N. Mori, M. Murai, H. Ohara, T. Chihara, T. Kaneko	266頁 ～ 271頁

### III 主な学会活動

発表(報告)名等	単独 共同	発表年月	学会名等
絶食下のラット小腸粘膜に対するGFOの修飾作用.	共同	2011年2月	第26回日本経腸栄養学会
アロエベラ超臨界抽出物および同粉末は高脂肪食負荷アゾキシメタン誘発マウス大腸前がん病変を抑制する	共同	2014年6月	がん予防学術大会2014東京(第21回日本がん予防学会総会)
Aloe vera gel extract attenuates intestinal polyp growth in Min mice fed a high-fat diet.	共同	2015年6月	The 16th PENZA (Parenteral and Enteral Nutrition Society of Asia) Congress
がん悪液質モデルとしてのMinマウスの実験測定項目の検討	共同	2017年10月	第51回日本実験動物技術者協会総会
Min (multiple intestinal neoplasia) マウスのがん悪液質モデルとしての有用性	共同	2018年10月	第52回日本実験動物技術者協会総会
Min (multiple intestinal neoplasia) マウスの悪液質症状発生に及ぼす脂肪酸投与の修飾作用	共同	2019年10月	第53回日本実験動物技術者協会総会

### IV 社会における主な活動

活動期間	活動内容等
2013年12月～2015年11月 2016年4月～2019年3月 2018年4月～現在 2019年4月～現在 2019年10月～現在	科学研究費委員会専門委員 一般社団法人日本実験動物技術者協会評議員、東海北陸支部・事務局長 中部日本学生軟式野球連盟副理事長 一般社団法人日本実験動物技術者協会東海北陸支部・支部長 一般社団法人日本実験動物技術者協会理事